

DIC 小劇場

平成 29 年度 大東市立文化情報センターDIC21 主催

人生フルーツ

Life is Fruity

津端修一さん 90 歳、英子さん 87 歳 風と雑木林と建築家夫婦の物語。

むかし、ある建築家が言いました。
家は、暮らしの宝石箱でなくてはいけない。

11/3 (金・祝)



午前 10:30 ~



午後 2:30 ~



午後 6:30 ~

- 開場 : 30 分前
- 上映時間 : 91 分
- 会場 : 大東市立文化情報センター DIC21

■ 前売 : ¥500 ■ 当日 : ¥700

※未就学児はご遠慮ください。

10 月 5 日 (木) から アクロス にて 発売 開始



©東海テレビ放送

お申し込み お問い合わせ 大東市立生涯学習センター **アクロス**

〒574-0036 大阪府大東市末広町 1-301 ローレルスクエア住道サンタワー内 ※JR 住道駅南側内

TEL : 072-869-6505 FAX : 072-870-1405 E-mail : info@daito-across.jp

H P : 「大東 アクロス」で検索 開館時間 午前9時~午後10時 休館日 : 第二木曜日

お願い : 当センターの駐輪場は狭いのでなるべく公共交通機関や徒歩でお越しください。

人生フルーツ *Life is Fruity*

© 東海テレビ放送



風が吹けば、
枯葉が落ちる。
枯葉が落ちれば、
土が肥える。
土が肥えれば、
果実が実る。
こつこつ、ゆっくり。
人生、フルーツ。

愛知県春日井市の高蔵寺ニュータウンの一隅。雑木林に囲まれた一軒の平屋。それは、建築家の津端修一さんが、師であるアントニン・レーモンドの自宅に倣って建てた家。四季折々、キッチンガーデンを彩る70種の野菜と50種の果実が、妻・英子さんの手で美味しいごちそうにかわります。刺繍や編み物から機織りまで、なんでもこなす英子さん。ふたりは、たがいの名を「さん付け」で呼び合います。長年連れ添った夫婦の暮らしは、細やかな気遣いと工夫に満ちていました。そう、「家は、暮らしの宝石箱でなくてはいけない」とは、モダニズムの巨匠ル・コルビジェの言葉です。



© 東海テレビ放送

かつて日本住宅公団のエースだった修一さんは、阿佐ヶ谷住宅や多摩平団地などの都市計画に携わってきました。1960年代、風の通り道になる雑木林を残し、自然との共生を目指したニュータウンを計画。けれど、経済優先の時代はそれを許さず、完成したのは理想とはほど遠い無機質な大規模団地。修一さんは、それまでの仕事から距離を置き、自ら手がけたニュータウンに土地を買い、家を建て、雑木林を育てはじめました。あれから50年、ふたりは、コツコツ、ていねいに、時をためてきました。そして、90歳になった修一さんに新たな仕事の依頼がやってきます。

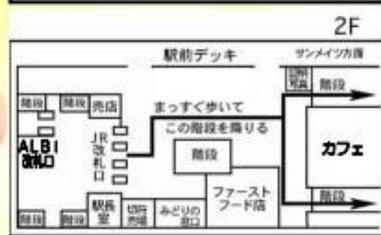
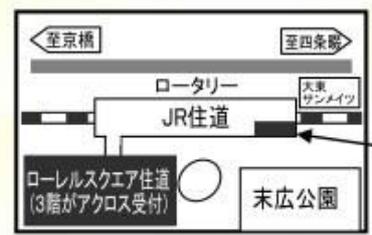
本作は東海テレビドキュメンタリー劇場第10弾。ナレーションをつとめるのは女優・樹木希林。ふたりの来し方と暮らしから、この国がある時代に諦めてしまった本当の豊かさへの深い思索の旅が、ゆっくりとはじまります。



チケット販売場所



会場：大東市立文化情報センターDIC21



文化情報センターDIC21

